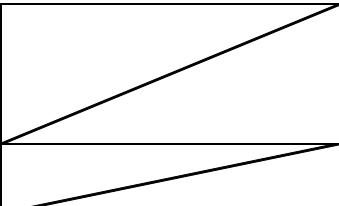


学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 2年 年間指導計画		
小学校						中学校			
1	2	3	4	5	6	1	(2)	3	
月	単元名	広がる学びへ(1)				系単元の	中学1年生での学習を振り返り, 作品のイメージを広げて朗読する。		
4	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	見えないだけ ・詩を通読する。 ・好きな言葉や表現を発表する。 ・詩の特徴を生かして朗読する。						つまずきやすい ポイント	・表現の工夫を考えること。	
							工夫・手立て	・1年生で学習した表現技法を提示する。 ・デジタル教科書の活用。	
	評価規準						進んで語感を磨き, 今までの学習を生かして朗読しようとしている。		
	知識・技能	詩の中に出てくる好きな言葉や表現を, 理由と共にまとめている。				思考・表現・判断	主体的に学習に取り込む態度		
		ノート・問題集・定期考査・行動観察					ノート・問題集・定期考査・行動観察		
月	単元名	広がる学びへ(4)				系単元の	中学1年生で, 場面の展開に着目して読むこと, 描写に着目して読むことを学習している。ここでは, その学習を踏まえ, 登場人物の設定を捉える。また, 登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意して読む。		
4	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	アイズプラネット ・作品を通読する。 ・「ぐうちゃん」について整理する。 ・「ぐうちゃん」の特徴を捉える。 ・ぐうちゃんに対する「僕」の思いを読み取る。 ・「ぐうちゃん」に対する自分の思いをまとめる。 ・学習を振り返る。						つまずきやすい ポイント	・登場人物の心情を読み取ること。	
							工夫・手立て	・ワークシートの工夫。 ・デジタル教科書の活用。	
	評価規準						積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え, 学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。		
	知識・技能	登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意して, 作品を読んでいる。				思考・表現・判断	主体的に学習に取り込む態度		
		ノート・問題集・定期考査・行動観察					ノート・問題集・行動観察・自己評価		
月	単元名	広がる学びへ(1)				系単元の	中学1年生で, 必要な情報を的確に聞き取り, メモを取ることを学習している。ここでは, 話の要点を捉え, 筋道が通っているかを検討する。また意見や根拠について検討する。		
5	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	問いを立てながら聞く ・「友達の提案」を聞き, 要点をメモする。 ・メモを基に, 意見や根拠について検討する。						つまずきやすい ポイント	・話の要点をメモすること。	
							工夫・手立て	・ワークシートの工夫。 ・1年生の時の学習を振り返る。 ・グループでの話し合いを取り入れる。	
	評価規準						進んで論理の展開などに注意して聞き, 今までの学習を生かして疑問点や確認したい点を考えようとしている。		
	知識・技能	提案された意見とそれを裏付けるための根拠を区別して捉えている。				思考・表現・判断	主体的に学習に取り込む態度		
		プリント・行動観察					プリント・行動観察		

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 2年 年間指導計画		
小学校						中学校			
1	2	3	4	5	6	1	(2)	3	
月	単元名	広がる学びへ(3)				系統単元の	中学1年生で歴史的仮名遣いの読み方や登場人物の関係や思いに着目して読み、現代の自分たちと比べ、古典の世界と現代の人々に共通する部分を考える学習を行っている。ここでは、現代語訳や語注を手掛かりに「枕草子」を読み、作者のものの見方や考え方を捉える。		
5	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	枕草子 ・「枕草子」を朗読し、古文を読み味わう。 ・作者のものの見方や感じ方を読み取る。 ・自分流「枕草子」を書く。						つまみさわやすい ポイント	・歴史仮名遣いの読み方。 ・筆者のものの見方や感じ方を読み取ること。	
							工夫・手立て	・音読を繰り返し行う。(全体・ペア・個人) ・ワークシートの工夫。 ・デジタル教科書の活用。	
評価規準									
知識・技能	現代語訳や語注を手掛かりに「枕草子」を読み、作者のものの見方や考え方を捉えている。				思考・表現・判断	作者の考えと自分の考えを比較し、感じたことをまとめている。生活を振り返って、自分ならではの季節感を表すものを見つけている。		主体的に学習に取り組む態度	進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。
	ノート・プリント・暗唱・問題集・定期考査・行動観察					ノート・プリント・問題集・定期考査・行動観察			ノート・プリント・行動観察・自己評価
月	単元名	広がる学びへ(1)				系統単元の	中学1年生でシンキングツールなどを効果的に活用し、情報の比較・分類をできるようにしている。ここでは、情報を整理し、視覚的に表す方法を理解する。		
5	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	情報整理のレッスン ・教材文を読み、情報を整理し、視覚的に表す方法を理解する。 ・問題に取り組む。						つまみさわやすい ポイント	・情報の整理の方法。	
							工夫・手立て	・ワークシートの工夫。 ・デジタル教科書の活用。	
評価規準									
知識・技能	情報どうしの関係を図で表している。				思考・表現・判断			主体的に学習に取り組む態度	学習課題に沿って、積極的に情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使おうとしている。
	プリント・行動観察							プリント・行動観察	

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 2年 年間指導計画		
小学校			中学校						
1	2	3	4	5	6	1	(2)	3	
月	単元名	広がる学びへ(5)				系単元の	中学1年生で集めた情報を、比較・分類して整理し、伝えたいことを明確にして説明することを学習している。ここでは、多様な方法で、さまざまな情報を収集し、考えをまとめていく。		
5	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	多様な方法で情報を集めよう ・調べる職業を決め、情報を集める。 ・集めた情報を分類・整理する。 ・紙面構成を考える。 ・下書きし、紙面を作る。 ・完成した作品を読み合い、感想を伝え合う。						つまずきやすい	・情報を基にまとめること。	
							工夫・手立て	・ワークシートの工夫。(適切な文字数や行数を目安として示す) ・chromebookの活用。 ・グループでの話し合いを取り入れる。	
評価規準									
知識・技能	集めた情報を表や図にまとめ、整理している。				思考・表現・判断	調べたい職業を決め、知りたいことに適した方法を考へて、情報を収集している。また、収集した情報を分類・整理し、自分の目的に合うものを取捨選択している。		主体的に学習に取り組む態度	多様な方法で集めた材料を整理し、学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。
	プリント・行動観察					プリント・行動観察			プリント・行動観察・自己評価
月	単元名	広がる学びへ(1)				系単元の	小学校4年生で熟語の意味について学習している。ここでは、その学習を踏まえ、熟語の構成の種類について理解する。		
5	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	熟語の構成 ・教材文を読み、熟語の構成の種類について理解する。 ・練習問題に取り組む。						つまずきやすい	・熟語の構成の種類を理解すること。	
							工夫・手立て	・ワークやプリントを用いて繰り返し問題を解く。 ・小テストを行い、定着度を確認する。 ・デジタル教科書の活用。	
評価規準									
知識・技能	熟語の構成を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。				思考・表現・判断	/		主体的に学習に取り組む態度	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	ノート・問題集・定期考査・行動観察								ノート・問題集・定期考査・行動観察

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 2年 年間指導計画		
小学校						中学校			
1	2	3	4	5	6	1	(2)	3	
月	単元名	多様な視点から(4)				系単元の	中学1年生で、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することを学習している。ここでは、文章全体と部分の関係や、文章と図表の関係に注意して読む。		
4	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	クマゼミ増加の原因を探る ・本文を通読する。 ・全体と部分の関係に注意して、構成を捉える。 ・文章と図表の関係に注意して、内容を読み取る。 ・考えたことを話し合う。						つまずきやすい ポイント	・問題提起や仮設の内容を捉えること。	
							工夫・手立て	・本文の中心的部分に線を引くように指導する。 ・グループでの話し合いを取り入れる。 ・ワークシートの工夫。 ・デジタル教科書の活用。	
評価規準									
知識・技能	文章が六つの部分できていることを理解し、線や矢印を用いてそれらの関係を整理している。				思考・表現・判断	筆者の主張を捉え、それと仮説との関係を理解している。文章中の図表やグラフが何のために示されているのかを、対応する文章を基に考えている。		主体的に学習に取り組む態度	積極的に文章と図表などを結び付け、学習の見直しをもって考えたことを話し合おうとしている。
	ノート・問題集・定期考査・行動観察					ノート・問題集・定期考査・行動観察			ノート・問題集・行動観察・自己評価
月	単元名	多様な視点から(1)				系単元の	中学1年生で根拠をもとに、根拠と意見をつなぐ考えをまとめ意見を伝えること、原因と結果がどうつながっているか整理することを学習している。ここでは、具体と抽象の概念を理解する。		
5	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	思考のレッスン1具体と抽象 ・教材文を読み、具体と抽象の概念を理解する。 ・問題に取り組む。						つまずきやすい ポイント	・具体と抽象について理解すること。	
							工夫・手立て	・ワークシートの工夫。 ・身近な例を取り上げて説明する。 ・グループでの話し合いを取り入れる。	
評価規準									
知識・技能	問題に取り組む、複数の情報をまとめて抽象化したり、言葉の意味を具体例を挙げて説明したりしている。				思考・表現・判断			主体的に学習に取り組む態度	学習課題に沿って、積極的に具体と抽象の関係について理解しようとしている。
	プリント・行動観察								プリント・行動観察

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 2年 年間指導計画		
小学校				中学校					
1	2	3	4	5	6	1	(2)	3	
月	単元名	多様な視点から(5)				系統単元の	中学1年生で話の構成を工夫し、声の大きさや速さなど、話し方を意識して話すことを学習している。ここでは言葉には、相手の行動を促す働きがあることを知り、話の構成や資料を工夫して相手の心を動かす提案をする。		
6	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫			
	魅力的な提案をしよう ・提案内容を決めて、情報を集める。 ・効果的な話の構成を考える。 ・プレゼンテーションをする。 ・プレゼンテーションを振り返り、よかった点や改善点を考える。					つまずきやすい ポイント	・効果的な話を構成を考えて発表すること。		
						工夫・手立て	・グループ活動を取り入れる。 ・ワークシートの工夫。 ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。		
評価規準									
知識・技能	相手が自ら動きたいと思えるような言葉や表現を用いてプレゼンテーションをしている。				思考・表現・判断	アピールしたい点が効果的に伝わるように話の構成を工夫している。プレゼンテーションソフトやフリップなどを用いて、提案内容が視覚的にもわかりやすくなるよう工夫している。			自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。
	プリント・発表・行動観察					プリント・発表・行動観察			プリント・発表・行動観察・自己評価
月	単元名	多様な視点から(2)				系統単元の	中学1年生で自立語・付属語、品詞や体言・用言について学習している。ここでは、その学習を活かし、自立語にどんな品詞があるかを知り、それぞれが文の中で果たす役割について理解する。		
6	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫			
	文法への扉1 ・教科書を読み、学習事項について理解する。 ・教科書の練習問題やワークの問題を解き、理解したことを確認する。					つまずきやすい ポイント	・自立語の働きについて理解すること。		
						工夫・手立て	・ワークやプリントを用いて繰り返し問題を解く。 ・小テストを行い、定着度を確認する。 ・デジタル教科書の活用。		
評価規準									
知識・技能	自立語にどんな品詞があるかを知り、それぞれが文の中で果たす役割について理解を深めている。				思考・表現・判断				今までの学習を生かして、積極的に自立語について理解を深めようとしている。
	ノート・問題集・定期考査・行動観察								ノート・問題集・行動観察

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 2年 年間指導計画				
小学校						中学校					
1	2	3	4	5	6	1	(2)	3			
月	単元名	情報社会を生きる(3)				系統元性の	中学1年生で情報を集めることや情報を読み取る方法などについて学習している。ここでは、メディアを比べて、特徴を理解し、目的や状況に応じたメディアの選び方を考える。また、情報を受け取る時の留意点を考える。				
6	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫				
	メディアを比べよう ・メディアを比べて、特徴を理解する。 ・目的や状況に応じたメディアの選び方を考える。 ・情報を受け取る時の留意点を考える。						つまずきやすい ポイント	・メディアの特徴を比較すること。			
							工夫・手立て	・ワークシートの工夫。 ・グループでの話し合いを取り入れる。 ・デジタル教科書の活用。			
知識・技能	情報メディアの特徴を、表や図などにまとめている。				思考・表現・判断	同一の話題について書かれた複数の情報メディアを比較し、それぞれ特徴について考えている。 目的や状況に応じて、どのようなメディアで情報を集めたらよいか、考えている。			主体的に学習に取り組む態度	観点を明確にして文章を比較し、学習課題に沿って目的や状況に応じたメディアの選び方を理解しようとしている。	
	プリント・行動観察					プリント・行動観察				プリント・行動観察・自己評価	
月	単元名	言葉と向き合う(4)				系統元性の	中学1年生で事物や情感を表す語句や表現に着目して読むことを学習している。ここでは、情景などを表す多様な語句に着目し、語感を磨き、知識や経験と結び付けて短歌を読み深める。				
7	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫				
	短歌に親しむ・短歌を味わう ・「短歌に親しむ」を通読し、短歌を朗読する。 ・短歌についてまとめる。 ・「短歌を味わう」を読み、内容や表現のしかたについて感じたことを話し合う。 ・「短歌を作ろう」に取り組む。						つまずきやすい ポイント	・短歌を読み味わうこと。 ・短歌を作ること。			
							工夫・手立て	・鑑賞の観点を示す。 ・グループ活動を取り入れる。 ・ワークシートの工夫。 ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。			
評価規準											
知識・技能	情景などを表す語句に着目して作品を読み深めている。また、情景や心情が生き生きと伝わる言葉を選んで短歌を創作している。				思考・表現・判断	複数の短歌を比較し、言葉の選び方や順序にどのような特徴や効果があるかを考えている。 自分の思いが伝わるように、学習した短歌の形式や表現の工夫を参考にして短歌を作っている。			主体的に学習に取り組む態度	進んで短歌の構成や表現の効果について考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。	
	ノート・プリント・定期考査・問題集・行動観察					ノート・プリント・定期考査・問題集・行動観察				ノート・プリント・行動観察・自己評価	

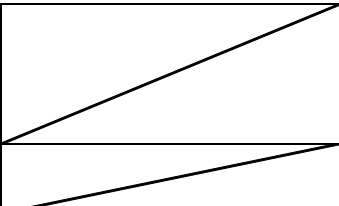
学年									
小学校						中学校			
1	2	3	4	5	6	1	(2)	3	
小笠原村立小笠原中学校 国語科 2年 年間指導計画									
月	単元名	言葉と向き合う(2)				系単元の	中学1年生で場面の展開や描写を基に、筆者の思いを捉えることを学習している。ここでは、その学習を活かし、本や文章には、さまざまな考え方が書かれていることを知り、知識や経験と結び付けて考えたことを伝え合う。		
7	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫			
	言葉の力 ・全文を通読する。 ・文章を要約して、内容を捉える。 ・筆者の考え方について話し合う。					つまずきやすい ポイント	・本文を要約すること。		
						工夫・手立て	・ワークシートの工夫。(キーワードを捉える) ・グループ活動を取り入れる。 ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。		
評価規準									
	知識・技能	言葉に対する筆者の考え方を捉え、本や文章には、筆者の考え方が書かれていることや、それに触れることで自分の考えを広げたり深めたりできることを理解している。			思考・表現・判断	言葉に対する筆者の考え方について自分の考えをもち、話し合っている。		主体的に学習に取り込む態度	進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
		ノート・問題集・定期考査・行動観察				ノート・問題集・定期考査・行動観察			ノート・問題集・行動観察
月	単元名	言葉と向き合う(2)				系単元の	小学校2年生で類義語・対義語について学習している。ここでは、その学習を活かし、類義語・対義語・多義語について理解する。		
6	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫			
	類義語・対義語・多義語 ・教科書を読み、学習事項について理解する。 ・教科書の練習問題やワークの問題を解き、理解したことを確認する。					つまずきやすい ポイント	・それぞれの語の意味や用法を理解すること。		
						工夫・手立て	・ワークやプリントを用いて繰り返し問題を解く。 ・小テストを行い、定着度を確認する。 ・デジタル教科書の活用。		
	知識・技能	類義語・対義語・多義語の概念について、具体的な例を当てはめて理解している。			思考・表現・判断			主体的に学習に取り込む態度	今までの学習を生かして、積極的に類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解しようとしている。
		ノート・問題集・定期考査・行動観察							ノート・問題集・行動観察

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 2年 年間指導計画		
小学校						中学校			
1	2	3	4	5	6	1	(2)	3	
月	単元名	読書生活を豊かに(3)				系統性の	中学1年生で読書が知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことについて学習している。ここでは、その学習を活かし、活動を通して本の魅力を感じ、今後どんな本を読みたいかを考える。		
7	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	読書を楽しむ・読書案内・読書コラム ・教材文を通読し、さまざまな読書活動を知る。 ・「本の紹介合戦」を行う。 ・二人の翻訳者による「星の王子さま」を読み比べる。 ・翻訳や外国文学について知る。						つまずきやすい ポイント	・本の魅力を伝えること。	
							工夫・手立て	・グループ活動を取り入れる。 ・ワークシートの工夫。(紹介したい本の魅力を伝える) ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。	
評価規準									
知識・技能	活動を通して本の魅力を感じ、今後どんな本を読みたいかを考えている。				思考・表現・判断	これまでの読書生活を振り返り、豊かにするためにできることを具体的に考えている。			
	プリント・行動観察					プリント・行動観察			
						本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして、本の魅力や感想を共有しようとしている。			
						プリント・行動観察・自己評価			
月	単元名	人間のきずな(4)				系統性の	1学期には登場人物の設定を捉えること、登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意して読むことを学習している。ここでは、登場人物の言動の意味を考える。また登場人物の言動や情景を表す語句に着目し、作品に与える印象を考える。		
8 9	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	盆土産 ・全文を通読する。 ・作品の構成を捉える。 ・登場人物の言動の意味を考える。 ・自分が捉えた作品の印象を伝え合う。						つまずきやすい ポイント	・文章の構成を捉えること。 ・登場人物の人物や心情を考えること。	
							工夫・手立て	・ワークシートの工夫。(時・出来事・場面を記入) ・グループ活動を取り入れる。 ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。	
評価規準									
知識・技能	登場人物の言動や情景を表す語句に着目し、それらが作品に与える印象を述べている。				思考・表現・判断	登場人物の言動から人柄や心情を読み取り、それらが話の展開や作品の印象にどう関わるかを捉えている。			
	ノート・プリント・定期考査・問題集・行動観察					ノート・プリント・定期考査・問題集・行動観察			
						粘り強く登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って作品の印象を伝え合おうとしている。			
						ノート・プリント・問題集・行動観察・自己評価			

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 2年 年間指導計画		
小学校						中学校			
1	2	3	4	5	6	1	(2)	3	
月	単元名	人間のきずな(3)				系単元の	中学1年生で、場面の展開や描写を基に、筆者の思いを捉えることを学習している。ここでは、文章の構成や表現の効果を考える。また、随筆の味わい方を知り、日常の読書に生かす。		
9	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	字のない葉書 ・全文を通読する。 ・二つの思い出を整理する。 ・表現に着目して、人柄や心情について読み取る。 ・父親に対する「私」の思いについて考える。						つまぎやすい ポイント	・登場人物の人柄や心情を捉えること。 ・登場人物に対して自分の考えを持つこと。	
							工夫・手立て	・ワークシートの工夫。(いつ・誰が・どんな葉書かを記入) ・グループ活動を取り入れる。 ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。	
知識・技能		表現に着目して人柄や心情を読み取り、それを生かして他の随筆を読んでいる。		思考・表現判断		前半部分と後半部分の人柄や心情の描かれ方を比較し、表現の効果について考えている。		主体的に学習に取り込む態度	表現の効果について考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
		ノート・プリント・定期考査・問題集・行動観察				ノート・プリント・定期考査・問題集・行動観察			ノート・プリント・問題集・行動観察・自己評価
月	単元名	人間のきずな(1)				系単元の	中学1年生で、質問で話を引き出す、音声の動きや仕組みを意識して話すことを学習している。ここでは、言葉には、相手の行動を促す働きがあることを意識し、質問で思いや考えを引き出す。		
9	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	質問で思いや考えを引き出す ・インタビューの準備をする。 ・インタビューを行う。						つまぎやすい ポイント	・話を広げたり深めたりする質問をすること。	
							工夫・手立て	・4つのタイプの質問の形を提示する。 ・グループでの活動を取り入れる。 ・デジタル教科書の活用。	
知識・技能		どのように質問をすると、相手がさらに話したくなるかを考えている。		思考・表現判断		話の要点や全体像を考えながら聞き、話を広げたり深めたりする質問をしている。		主体的に学習に取り込む態度	論理の展開に注意して聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出す質問をしようとしている。
		ノート・問題集・定期考査・行動観察				ノート・問題集・定期考査・行動観察			ノート・問題集・定期考査・行動観察

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 2年 年間指導計画		
小学校						中学校			
1	2	3	4	5	6	1	(2)	3	
月	単元名	人間のきずな(3)				系単元の	中学1年生で、事柄・目的・相手に応じた情報の整理のしかたを理解し、わかりやすい案内文を書くことを学習している。ここでは、敬語の働きを理解し、適切に使い、通信文(手紙・電子メール)を書く。		
4	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫			
	手紙や電子メールを書く ・手紙と電子メールを比較し、活用場面を考える。 ・伝えたい内容を決め、通信手段を選ぶ。 ・手紙や電子メールを書く。					つまずきやすい ポイント	・手紙と電子メールを比較すること。		
						工夫・手立て	・グループでの話し合いを取り入れる。 ・ワークシートの工夫。(・同じ内容の手紙と電子メールを載せる) ・デジタル教科書の活用。		
	評価規準								
知識・技能	何かをお願いする文面などにおいて、どのような言葉を選ぶと、相手に引き受けしてもらえるかを考えている。				思考・表現・判断	相手や目的に応じて、敬語を適切に使って通信文を書いている。 自分の思いや考えが伝わるように、具体例を加えたり、表現の工夫をしたりして通信文を書いている。		積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って通信手段を選び、通信文を書こうとしている。	
	プリント・行動観察					プリント・行動観察		プリント・行動観察・自己評価	
月	単元名	人間のきずな(1)				系単元の	中学1年生で、読み手の立場に立って推敲することを学習している。ここでは、敬語の働きを理解し、適切に使い、表現の効果に着目して推敲する。		
5	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫			
	表現の効果を考える ・手紙の下書きを読み、適切な文字や表記に書き改める。 ・より効果的な表現を考える。					つまずきやすい ポイント	・適切に文章を推敲すること。		
						工夫・手立て	・ワークシートの工夫。 ・1年生の時に学習を振り返る。 ・グループでの話し合いを取り入れる。		
	評価規準								
知識・技能	手紙を推敲し、適切な敬語に書き改めている。				思考・表現・判断	読み手の立場に立って手紙を推敲し、気持ちがいよ伝わるような表現に書き改めている。		文章を整え、今までの学習を生かして手紙を推敲しようとしている。	
	プリント・行動観察					プリント・行動観察		プリント・行動観察	

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 2年 年間指導計画		
小学校			中学校						
1	2	3	4	5	6	1	(2)	3	
9月	単元名	人間のきずな(1)				系統単元の	小学校5年生で、敬語について学習している。ここでは、その学習を活かし、敬語を使う生活場面を想定し、敬語の働きについて理解を深める。		
9	敬語						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	<ul style="list-style-type: none"> 導入の例文を読み、敬語の使い方について考える。 教材文を読み、敬語の働きや種類について理解する。 教材文を読み、敬語の組み合わせについて考える。 						つまぎやすい ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 適切な敬語の使い方を考えること。 	
							工夫・手立て	<ul style="list-style-type: none"> ペアやグループでの活動を取り入れる。 デジタル教科書の活用。 	
評価規準									
知識・技能		敬語を使う生活場面を想定し、敬語の働きについて理解を深めている。				思考・表現・判断	主眼的に学習に取り込む態度		今までの学習を生かして、積極的に敬語の働きについて理解しようとしている。
		ノート・問題集・定期考査・行動観察							ノート・問題集・定期考査・行動観察
10月	単元名	人間のきずな(1)				系統単元の	小学校5年生で、同じ読み方の漢字について学習している。ここでは、その学習を活かし、同じ読みで意味の異なる言葉(同音異義語)の使い分けについて理解する。		
10	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	同じ訓・同じ音をもつ漢字 <ul style="list-style-type: none"> 教材文を読み、熟語の構成の種類について理解する。 練習問題に取り組む。 						つまぎやすい ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 同じ訓・音をもつ漢字について理解すること。 	
							工夫・手立て	<ul style="list-style-type: none"> ワークやプリントを用いて繰り返し問題を解く。 小テストを行い、定着度を確認する。 デジタル教科書の活用。 	
評価規準									
知識・技能		文脈や言葉の意味に注意して、漢字を読んだり、書いたりしている。同音異義語の概念について、具体的な例を当てはめて理解している。				思考・表現・判断	主眼的に学習に取り込む態度		学習課題に沿って、積極的に同音異義語を理解し、漢字を読んだり書いたりしようとしている。
		ノート・問題集・定期考査・行動観察							ノート・問題集・定期考査・行動観察

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 2年 年間指導計画		
小学校						中学校			
1	2	3	4	5	6	1	(2)	3	
月	単元名	論理を捉えて(4)				系単元性の	1学期には、文章全体と部分の関係や、文章と図表の関係に注意して読むこと、文章の構成や展開について、理解を深めることを学習している。ここでは、その学習を活かし、自分の知識や考えと比べながら、文章の構成や論理の展開を吟味する。また、意見を裏づけるための、適切な根拠のあり方について理解する。		
10	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	モアイは語る——地球の未来 ・全文を通読する。 ・文章の構成に着目し、内容を捉える。 ・論理の展開を吟味する。 ・筆者の主張に対する考えを文章にまとめる。 ・学習を振り返る。						つまずきやすい ポイント	・自分の考えを文章にまとめること。	
							工夫・手立て	・ワークシートの工夫。(文型を提示) ・グループ活動を取り入れる。 ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。	
評価規準									
知識・技能	筆者の意見(主張)がどのような根拠によって支えられているかを理解し、その根拠が適切かを吟味している。				思考・表現・判断	文章全体の構成を捉え、意見と根拠の結びつきや論の進め方を吟味している。自分の知識や体験と重ね、筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめている。		主体的に学習に取り込む態度	論理の展開について考え、学習の見直しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。
	ノート・プリント・定期考査・問題集・行動観察					ノート・プリント・定期考査・問題集・行動観察			ノート・プリント・行動観察・自己評価
月	単元名	論理を捉えて(1)				系単元性の	1学期には、具体と抽象の概念について学習している。ここでは、根拠を吟味する方法を理解する。		
10	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	思考のレッスン2 根拠の吟味 ・教材文を読み、根拠を吟味する方法を理解する。 ・問題1, 2に取り組む。						つまずきやすい ポイント	・説得力を高めるための意見を考えること。	
							工夫・手立て	・Aさんの意見に足りないものを考えるように指導する。 ・chromebookの活用。 ・グループでの話し合いを取り入れる。	
評価規準									
知識・技能	問題に取り組む、根拠を吟味している。				思考・表現・判断			主体的に学習に取り込む態度	今までの学習を生かして、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。
	ノート・問題集・定期考査・行動観察								ノート・問題集・定期考査・行動観察

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 2年 年間指導計画		
小学校						中学校			
1	2	3	4	5	6	1	(2)	3	
月	単元名	論理を捉えて(4)				系単元性の	中学1年生で、本や資料から文章や図表を引用し、根拠を明確にして自分の考えを伝えることを学習している。ここでは、その学習を活かし、自分の意見を支えるためのより適切な根拠の在り方について考え、適切な根拠を選び、構成などを工夫して明確な意見文を書く。		
10	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫			
	意見文を書く ・課題を決め、分析する。 ・立場を決めて考えをまとめる。 ・反論を想定して、構成を考える。 ・意見文にまとめる。 ・意見文を友達と読み合う。					つまずきやすい	・構成を考えて意見文を書くこと。		
						工夫・手立て	・ワークシートの工夫。(意見文を書くときに使える表現を提示する) ・chromebookの活用。 ・グループでの話し合いを取り入れる。		
評価規準									
知識・技能	自分の意見を支えるための適切な根拠を選んでいく。				思考・表現・判断	根拠となる事実を具体的に示したり、想定される反論に対する意見を示したりしている。		主体的に学習に取り込む態度	根拠の適切さを考え、学習の見通しをもって意見文を書くようとしている。
	プリント・行動観察					プリント・行動観察			プリント・行動観察・自己評価
月	単元名	論理を捉えて(1)				系単元性の	中学1年生で、意見と根拠の関係を理解し、話し合いの展開を捉えることを学習している。ここでは、その学習を活かし、意見や根拠について検討し、異なる立場や考えを尊重しながら考える。		
10	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫			
	【討論】異なる立場から考える ・テーマに沿って集められた①～③の事実を読む。 ・賛成・反対それぞれの立場の人が、①～③を基にどんな意見を述べるのかを考える。					つまずきやすい	・賛成、反対の立場で意見を考えること。		
						工夫・手立て	・ワークシートの工夫。 ・グループ活動を取り入れる。 ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。		
評価規準									
知識・技能	賛成・反対それぞれの立場の人が、根拠となる事実から、どんな意見を述べるのかを考えている。				思考・表現・判断	同じ情報を基にしたり、同じ観点で考えたりしても、立場によって異なる意見になり得ることに気付いている。		主体的に学習に取り込む態度	意見と根拠の関係について理解し、今までの学習を生かして異なる立場の人の意見を想定しようとしている。
	プリント・行動観察					プリント・行動観察			プリント・行動観察

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 2年 年間指導計画			
小学校						中学校				
1	2	3	4	5	6	1	(2)	3		
月	単元名	論理を捉えて(4)				系統単元の	中学1年生で、意見と根拠を明確にし、話題や展開を捉えて話し合うことを学習している。ここでは、その学習を活かし、立場を明確にして、適切な根拠とともに意見を述べ、異なる立場の人と話し合う。			
11	立場を尊重して話し合おう ・討論のテーマを決め、情報を集める。 ・立場を決めて、考えをまとめる。 ・グループで討論する。 ・討論を振り返る。						つまずきやすい ポイント	「わかる」から「できる」授業への工夫 ・討論のテーマを決め、情報を集めること。 ・意見をまとめること。		
							工夫・手立て	・ワークシートの工夫。(適切な文字数や行数を目Yストして示す) ・chromebookの活用。 ・グループでの話し合いを取り入れる。		
	評価規準									
知識・技能	説得力のある根拠と共に、意見をまとめている。				思考・表現・判断	地域や社会で話題になっていることの中からテーマを決め、異なる立場の人の考えを予想しながら考えをまとめている。 互いの意見の共通点や相違点、話し合いの論点を踏まえて話している。			主体的に学習に取り組む態度	互いの立場や考えを尊重し、学習の見通しをもって討論しようとしている。
	プリント・行動観察					プリント・行動観察			プリント・行動観察	
月	単元名	論理を捉えて(1)				系統単元の	中学1年生での詩の学習に引き続き、表現の効果などについて考える。また、語感をみがき、語彙を豊かにする。			
11	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
	月夜の浜辺 ・全文を通読する。 ・詩を声に出して読む。 ・表現に着目し、その効果について考える。 ・言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。						つまずきやすい ポイント	・表現の工夫について考えをまとめること。		
							工夫・手立て	・1年生の時の学習を再確認する。(表現技法) ・chromebookの活用。 ・グループでの話し合いを取り入れる。		
評価規準										
知識・技能	詩の中の語句に着目し、詩全体の世界を豊かに想像している。				思考・表現・判断	詩の中の反復表現、対句表現、反語表現に着目し、その効果を考えている。			主体的に学習に取り組む態度	表現の効果について考え、今までの学習を生かして詩を朗読しようとしている。
	ノート・問題集・定期考査・行動観察					ノート・問題集・定期考査・行動観察			ノート・問題集・定期考査・行動観察	

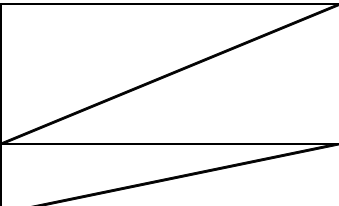
学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 2年 年間指導計画		
小学校						中学校			
1	2	3	4	5	6	1	(2)	3	
月	単元名	いにしへの心を訪ねる(1)				系統性の	1学期には、現代語訳や語注を手掛かりに作品を読み、作者のものの見方や考え方を捉えることを学習している。ここでは、その学習を活かし、作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむ。現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知る。		
11	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫			
	音読を楽しもう 平家物語 ・「源氏と平家」の資料を読み、「平家物語」の主要な人物や主な戦いについて知る。 ・「平家物語」の概要と文章の特徴を知る。 ・冒頭部分を音読し、独特の調子とリズム、言葉の響きを味わう。 ・冒頭部分の現代語訳を読み、「平家物語」を貫く「無常観」のイメージをもつ。 ・作品を貫く「無常観」と重ねて冒頭部分を朗読する。					つまずきやすい ポイント		・歴史的仮名遣いに気を付けて音読すること。	
						工夫・手立て		・音読を繰り返し行う。(全体・ペア・個人) ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。	
評価規準									
知識・技能		漢語を交えた独特の調子とリズムを捉えて朗読している。冒頭部分の現代語訳を読んで、「無常観」を感じ取っている。			思考・表現・判断		主体的に学習に取り組む態度		古典に表れたものの見方や考え方を知り、学習課題に沿って朗読しようとしている。
		ノート・暗唱・問題集・定期考査・行動観察							ノート・暗唱・行動観察
月	単元名	いにしへの心を訪ねる(3)				系統性の	前単元で学習した「平家物語」冒頭を基に、「扇の的」での与一の言動や「弓流し」の場面での義経の言動の意味について考え、作品を読み深める。		
11	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫			
	扇の的「平家物語」から ・全文を通読する。 ・「平家物語」の冒頭部分と「扇の的」を繰り返し朗読する。(学習①) ・登場人物の言動から、心情を考える。 ・読み取ったことを基に自分の考えを述べる。					つまずきやすい ポイント		・登場人物の考えを考えること。	
						工夫・手立て		・登場人物の心情がわかる部分を現代語訳から探すように指示する。 ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。 ・グループでの話し合いを取り入れる。	
評価規準									
知識・技能		与一や義経の言動、扇の的を射落とした後の人々の反応に着目し、古人のものの見方や考え方を捉えている。			思考・表現・判断		主体的に学習に取り組む態度		登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
		ノート・問題集・定期考査・行動観察							ノート・問題集・定期考査・行動観察・自己評価

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 2年 年間指導計画			
小学校						中学校				
1	2	3	4	5	6	1	(2)	3		
月	単元名	いにしへの心を訪ねる(3)				系統単元の	1学期「枕草子」や前単元「平家物語」の学習を活かし、現代語訳や語注などを手掛かりにして、法師の言動やそれに対する作者のものの見方、考え方を理解する。また、法師と同じような経験がないかを踏まえて、考えたことを話し合う。			
11	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫				
	仁和寺にある法師——「徒然草」から ・全文を通読する。 ・「徒然草」の冒頭部分と「仁和寺にある法師」の原文を朗読する。 ・本文を読み、内容をまとめる。 ・法師と同じような勘違いをした経験がないかを踏まえて、考えたことを話し合う。					つまぎやすい ポイント		・法師の失敗の理由を読み取ること。 ・自分の経験と結び付けて考えること。		
						工夫・手立て		・ワークシートの工夫。(寺や神社の位置を載せる・経験の例を提示する) ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。 ・グループでの話し合いを取り入れる。		
評価規準										
知識・技能		現代語訳や語注などを手掛かりにして、法師の言動やそれに対する作者のものの見方、考え方を理解している。			思考・表・判断 現断		法師と同じような経験がないかを踏まえて、考えたことを話し合っている。文章の構成を工夫して、古典の登場人物について論じる文章を書いている。		主体的に学習に取り込む態度	積極的に考えたことを知識や経験と結び付け、学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。
		ノート・問題集・定期考査・暗唱・行動観察					ノート・問題集・定期考査・行動観察			ノート・問題集・定期考査・暗唱・行動観察・自己評価
月	単元名	いにしへの心を訪ねる(3)				系統単元の	中学1年生で、音読に必要な文語のきまり、漢文特有のリズムや言い回しなどについて理解し、故事成語と自分の生活を結び付けて考えることを学習している。ここでは、その学習を活かし、漢文特有の言葉遣いや調子を意識して朗読している。また、好きな漢詩を選び、気に入った表現や句を引用しながら、構成や表現の効果を伝え合う。			
11	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫				
	漢詩の世界 ・全文を通読する。 ・漢詩の特徴を生かして朗読する。 ・解説を手がかりに、漢詩を読み味わう。 ・好きな漢詩を選び、その理由を伝え合う。					つまぎやすい ポイント		・漢文の特徴を生かして朗読すること。		
						工夫・手立て		・音読を繰り返し行う。(全体・ペア・個人) ・ワークシートの工夫。 ・グループ活動を取り入れる。 ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。		
評価規準										
知識・技能		漢文特有の言葉遣いや調子を意識して朗読している。			思考・表・判断 現断		好きな漢詩を選び、気に入った表現や句を引用しながら、構成や表現の効果を伝え合っている。		主体的に学習に取り込む態度	作品の特徴を生かして朗読し、学習課題に沿って好きな漢詩を選び、その理由を述べようとしている。
		ノート・暗唱・問題集・定期考査・行動観察					ノート・問題集・定期考査・行動観察			ノート・暗唱・行動観察

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 2年 年間指導計画			
小学校				中学校						
1	2	3	4	5	6	1	(2)	3		
月	単元名	価値を語る(4)				系単元性の	1学期には文章全体と部分の関係や、文章と図表の関係に注意して読むこと、2学期には自分の知識や考えと比べながら、文章の構成や論理の展開を吟味することを学習している。ここでは、その学習を活かし、観点を明確にして文章を比較し、その分析を基に構成や表現の効果を考える。また、文章の構成における具体と抽象の関係や文章で使われている比較の効果を理解する。			
12	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫				
	君は「最後の晩餐」を知っているか・「最後の晩餐」の新しさ ・全文を通読する。 ・「君は『最後の晩餐』を知っているか」の内容を捉える。 ・文章を比較して、構成や表現の特徴を捉える。 ・考えたことを文章にまとめる。					つまずきやすい ・文章の内容や構成を整理すること。				
						工夫・手立て ・ワークシートの工夫。 ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。				
評価規準										
知識・技能		筆者が、どのような例示(具体)を基に、「最後の晩餐」を「かっこいい。」(抽象)と述べているのかを理解している。二つの文章を比較し、それぞれの特徴や共通点・相違点を表に整理している。			思考・表現・判断		二つの文章に書かれていることを比較したり、関係付けたりしながら、それぞれの文章が書かれた目的や意図を考えている。		主体的に学習に 取り組む態度	観点を明確にして文章を比較し、これまでの学習を生かして考えたことを文章にまとめようとしている。
		ノート・プリント・定期考査・問題集・行動観察					ノート・プリント・定期考査・問題集・行動観察			ノート・プリント・行動観察・自己評価
月	単元名	価値を語る(2)				系単元性の	中学1年生で、書評を書き助言を基に文章をよりよくすることを学習している。ここでは、その学習を活かし、作品の魅力効果を効果的に伝える。また、語感をみがき、作品の魅力語る語彙を豊かにする。			
12	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫				
	鑑賞文を書く 「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 ・作品を鑑賞する。 ・表現の効果を考える。 ・鑑賞文を書く。 ・文章を読み合い、意見交換をする。 ・学習を振り返る。					つまずきやすい ・鑑賞の観点に基づいて鑑賞文を書くこと。				
						工夫・手立て ・ワークシートの工夫。(魅力・説明・まとめ) ・グループ活動を取り入れる。 ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。				
評価規準										
知識・技能		作品の魅力伝える言葉にはどんなものがあるかを考え、より効果的な語句や表現を選んでいる。			思考・表現・判断		作品の魅力が伝わるよう、作品に描かれている様子を具体的に説明している。友達と鑑賞文を読み合い、意見交換をすることで、自分の鑑賞文のよさや改善点を見いだしている。		主体的に学習に 取り組む態度	表現の効果を考えて描写し、これまでの学習を生かして鑑賞文を書こうとしている。
		プリント・行動観察					プリント・行動観察			プリント・行動観察・自己評価

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 2年 年間指導計画		
小学校						中学校			
1	2	3	4	5	6	1	(2)	3	
月	単元名	価値を語る(2)				系統単元の	1学期には、自立語にどんな品詞があるかを知り、それぞれが文の中で果たす役割について学習している。ここでは、その学習を活かし、用言の活用形と活用の種類について、語例を基に理解する。		
12	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	文法への扉2 ・教科書を読み、学習事項について理解する。 ・教科書の練習問題やワークの問題を解き、理解したことを確認する。						つまみざきやすい ・それぞれの語の意味や用法を理解すること。		
							工夫・手立て ・ワークやプリントを用いて繰り返し問題を解く。 ・小テストを行い、定着度を確認する。 ・デジタル教科書の活用。		
知識・技能		用言の活用形と活用の種類について、語例を基に理解している。				思考・表現・判断		主体的に学習に取り組む態度	
		ノート・問題集・定期考査・行動観察						ノート・問題集・行動観察	
月	単元名	読書に親しむ(1)				系統単元の	1学期には、活動を通して本の魅力を感じ、今後どんな本を読みたいかを考えている。ここでは、教材文を通して研究者の考え方や探求心に触れ、研究に関わるさまざまな本を読む。また、教材文を自分の知識や経験と結び付けて読み、感想を伝え合う。		
12	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	読書案内 ・「研究の現場によこそ」を通読する。 ・「クモの糸でバイオリン」を通読する。 ・感想を伝え合う。						つまみざきやすい ・本の魅力を伝えること。		
							工夫・手立て ・グループ活動を取り入れる。 ・ワークシートの工夫。(紹介したい本の魅力を伝える) ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。		
知識・技能		教材文を通して研究者の考え方や探求心に触れ、研究に関わるさまざまな本を読むようとしている。				思考・表現・判断		主体的に学習に取り組む態度	
		プリント・行動観察						プリント・行動観察	
評価規準									
		教材文を通して研究者の考え方や探求心に触れ、研究に関わるさまざまな本を読むようとしている。						本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして感想を伝え合おうとしている。	
		プリント・行動観察						プリント・行動観察	

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 2年 年間指導計画		
小学校				中学校					
1	2	3	4	5	6	1			
月	単元名	表現を見つめる(6)				系単元性の	1学期には登場人物の設定を捉えること、2学期には登場人物の言動の意味を考えることを学習している。ここでは、その学習を活かし、人物像や表現の効果などに着目して、作品の魅力を考える。また、抽象的な概念を表す語句が、作品に与える印象を考える。		
1	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	流れメロス ・全文を通読する。 ・作品の設定と構成を押さえる。 ・場面の展開に即して人物像を読み取る。 ・作品の魅力をまとめ、語り合う。						つまずきやすいポイント	・人物像を捉えること。	
							工夫・手立て	・ワークシートの工夫。(登場人物の描写を対比させる) ・グループ活動を取り入れる。 ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。	
評価規準									
知識・技能	作品中の漢語を和語に置き換えると、印象がどのように変わるかを考えている。				思考・表現・判断	「メロス」や「王」の言動に着目して、人物の考え方や心情の変化を読み取っている。「メロス」の行動や考え方で共感できたところ・できなかったところを、自分の知識や経験と結び付けて考えている。登場人物の人物像や表現のしかたなど、観点を明確にして作品の魅力を文章にまとめている。		主体的に学習に取り組む態度	登場人物の言動の意味などについて考え、学習の見直しをもって作品の魅力を文章にまとめようとしている。
	ノート・プリント・定期考査・問題集・行動観察					ノート・プリント・定期考査・問題集・行動観察			ノート・プリント・問題集・行動観察・自己評価
月	単元名	表現を見つめる(4)				系単元性の	1学期には自立語にどんな品詞があるかを知り、それぞれが文の中で果たす役割について、2学期には用言の活用形と活用の種類について学習している。ここでは、その学習を活かし、助詞・助動詞の働きや種類について理解し、文や文章で使われている助詞や助動詞の意味・用法を判別する。		
1	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	文法への扉3 ・教科書を読み、学習事項について理解する。 ・教科書の練習問題やワークの問題を解き、理解したことを確認する。						つまずきやすいポイント	・付属語について理解すること。	
							工夫・手立て	・ワークやプリントを用いて繰り返し問題を解く。 ・小テストを行い、定着度を確認する。 ・デジタル教科書の活用。	
知識・技能	助詞・助動詞の働きや種類について理解し、文や文章で使われている助詞や助動詞の意味・用法を判別している。				思考・表現・判断			主体的に学習に取り組む態度	今までの学習を生かして、積極的に助詞や助動詞の働きについて理解しようとしている。
	ノート・問題集・定期考査・行動観察								ノート・問題集・行動観察

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 2年 年間指導計画		
小学校				中学校					
1	2	3	4	5	6	1			
月	単元名	表現を見つめる(4)				系単元の	中学1年生で、構成や描写を考えて、印象に残る随筆を書くことを学習している。ここでは、その学習を活かし、文章の構成や展開について理解を深め、構成を工夫して物語を書く。		
2	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	構成や展開を工夫して書こう ・これまでに学習してきた物語や小説を振り返る。 ・題材を考える。 ・物語の設定とあらすじを考える。 ・友達が書いた物語を読み、助言し合う。						つまずきやすい ポイント	・物語の設定を考えること。 ・構成や展開を考えること。	
							工夫・手立て	・ワークシートの工夫。(マッピング) ・具体的なことから書くように指示する。 ・グループ活動を取り入れる。 ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。	
	評価規準								
	知識・技能	これまでに学習した作品の構成や展開を振り返り、どんな点を自分の文章に生かしたいかを考えている。			思考・表現・判断	起承転結の流れで構成を考え、場面の展開が明確になるように、それぞれの場面での出来事や心情を整理している。書いた物語を友達と読み合い、よい点や改善点を伝え合っている。		主体的に学習に取り込む態度	文章の構成や展開を工夫し、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。
		プリント・行動観察				プリント・行動観察			プリント・行動観察・自己評価
月	単元名	表現を見つめる(2)				系単元の	小学校6年生で話し言葉と書き言葉について学習している。ここでは、その学習を活かし、話し言葉と書き言葉について、それぞれの特徴を理解し、表現する際にどのような注意が必要かを考える。		
2	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	話し言葉と書き言葉 ・教科書を読み、学習事項について理解する。 ・教科書の練習問題やワークの問題を解き、理解したことを確認する。						つまずきやすい ポイント	・話し言葉と書き言葉を使い分けること。	
							工夫・手立て	・グループ活動を取り入れる。 ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。	
	評価規準								
	知識・技能	話し言葉と書き言葉について、それぞれの特徴を理解し、表現する際にどのような注意が必要かを考えている。			思考・表現・判断			主体的に学習に取り込む態度	今までの学習を生かして、積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとしている。
		ノート・定期考査・問題集・行動観察							ノート・問題集・行動観察

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 2年 年間指導計画					
小学校						中学校						
1	2	3	4	5	6	1	(2)	3				
月	単元名	表現を見つめる(1)				系統単元の	これまでの漢字学習を活かし、送り仮名に注意して、漢字を読んだり書いたりする。					
2	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫					
	送りがな ・教科書を読み、学習事項について理解する。 ・教科書の練習問題やワークの問題を解き、理解したことを確認する。						つまぎやさい ポイント	送りがなに気を付けて漢字を書くこと。				
							工夫・手立て	<ul style="list-style-type: none"> ワークやプリントを用いて繰り返し問題を解く。 小テストを行い、定着度を確認する。 デジタル教科書の活用。 				
知識・技能	送り仮名に注意して、漢字を読んだり書いたりしている。				思考・表現・判断	主体的に学習に取り組む態度			学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり、書いたりしようとしている。			
	ノート・問題集・定期考査・行動観察								ノート・問題集・行動観察			
月	単元名	表現を見つめる(4)				系統単元の	1年間の国語の学習を振り返り、情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解して使い、互いの立場や考えを尊重し、考えをまとめる。また、文章の構成や展開について理解し、考えをわかりやすく伝える。					
2	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫					
	国語の学びを振り返ろう ・グループで話し合い、壁新聞のテーマを決める。 ・壁新聞の内容を話し合う。 ・壁新聞を作る。 ・壁新聞を読み合い、感想を伝え合う。						つまぎやさい ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 壁新聞の構成を考えること。 				
							工夫・手立て	<ul style="list-style-type: none"> 実際の新聞を提示する。 グループ活動を取り入れる。 chromebookの活用。 デジタル教科書の活用。 				
評価規準												
知識・技能	構成を工夫して記事を書いている。壁新聞のテーマを話し合う際に出た意見を、表などを用いてまとめている。				思考・表現・判断	壁新聞のテーマと内容について、お互いの意見の共通点・相違点を明らかにしながら話し合い、結論を導いている。読み手の立場に立って推敲し、表現を工夫している。			主体的に学習に取り組む態度	文章の構成や展開を工夫し、これまでの学習を生かして壁新聞を作ろうとしている。		
	作品・行動観察					作品・行動観察				作品・行動観察・自己評価		

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 2年 年間指導計画			
小学校						中学校				
1	2	3	4	5	6	1	(2)	3		
月	単元名	表現を見つめる(2)				系単元の	2学期には、表現の効果などについて考えることを学習している。ここでは、その学習を活かし、作者のものの見方を捉え、自分の考えを広げる。また、抽象的な概念を表す言葉などに着目する。			
3	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
	木 ・詩を通読する。 ・詩の中の印象に残った表現を挙げ、どんな印象を受けたかを話し合う。 ・表現の意味を考える。 ・作者のものの見方について語り合う。						つまずきやすい ポイント	・筆者の見方について考えをもつこと。		
							工夫・手立て	・ワークシートの工夫。(筆者の心情を読み取る) ・グループ活動を取り入れる。 ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。		
評価規準										
知識・技能		抽象的な概念を表す言葉に着目し、詩の中での意味を考えている。			思考・表現・判断		自分の知識や経験と結び付けて、作者のものの見方について考えている。		主体的に学習に取り込む態度	詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って作者のものの見方について話し合おうとしている。
		ノート・問題集・行動観察					ノート・問題集・行動観察			ノート・問題集・行動観察
月	単元名	表現を見つめる(3)				系単元の	1年間の話すこと・聞くこと、読むこと、書くことの学習を振り返り、身に付けた力を確認する。			
3	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
	学習を振り返ろう ・学習課題に取り組む。						つまずきやすい ポイント	・課題で問われていることを読み取り、答えること。		
							工夫・手立て	・今までの学習を振り返る。		
知識・技能		相手の心が動くように、卒業生に贈る言葉を選び、その理由を考えている。根拠を明確にして、卒業生に贈る言葉について書いている。			思考・表現・判断		/		主体的に学習に取り込む態度	今までの学習を生かして、学習課題に取り組もうとしている。
		プリント・行動観察								プリント・行動観察・自己評価

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 2年 年間指導計画		
小学校						中学校			
1	2	3	4	5	6	1	(2)	3	
5 7 9 12 3	単元名	書写(20)				系単元性の	中学1年生で、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くことを学習している。ここでは、その学習を活かし、行書の点画の省略や筆順の変化、行書に調和する仮名、行書と仮名の調和について学習する。		
	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫			
	・行書の書き方 ・行書の練習 ・行書と仮名の調和 ・行書と仮名 ・楷書と行書の使い分け ・1年間のまとめ					つまみずきやすい ポイント	・行書の書き方 ・行書と楷書を使い分けること		
						工夫・手立て	・グループ活動を取り入れる。 ・デジタル教科書の活用。		
評価規準									
知識・技能	漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書いている。				思考・表現・判断	行書に仮名を調和させるための書き方を確かめている。		主体的に学習に取り組む態度	書体を選択して書く必要性を理解し、学習課題に沿って適切な書体を選んで書こうとしている。
	作品・行動観察					作品・行動観察			作品・行動観察・自己評価
12	単元名	伝統的な言語文化(4)				系単元性の	中学1年生での学習を活かし、源平戦や散らし取りのゲームを通して、我が国の言語文化に触れる。		
	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫			
	百人一首 ・百人一首に取り組む(源平線・散らし取り)					つまみずきやすい ポイント	・百人一首を覚えること。		
						工夫・手立て	・ワークシートの工夫。(百人一首の覚え方) ・グループ活動を取り入れる。 ・映像教材の活用。		
評価規準									
知識・技能	目標より多くの札を覚えることができる。				思考・表現・判断	[図表: 対角線が描かれた正方形]		主体的に学習に取り組む態度	「百人一首」のゲームを通じて親しんでいる。
	プリント・行動観察								プリント・行動観察